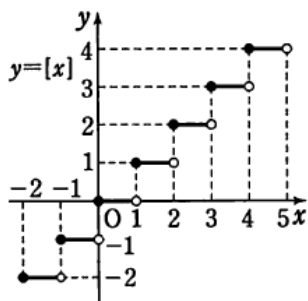
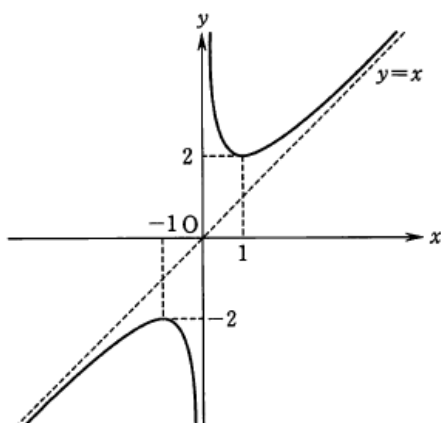


# 有名曲線 I

## ガウス記号



$$y = x + \frac{1}{x}$$

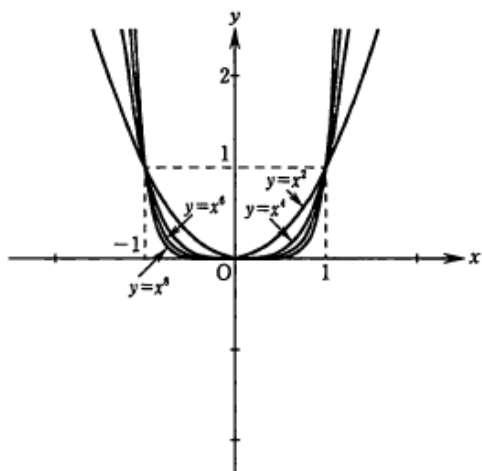


文字置き換えでしばしば登場する。

原点对称

極値は相加・相乗で求まる。

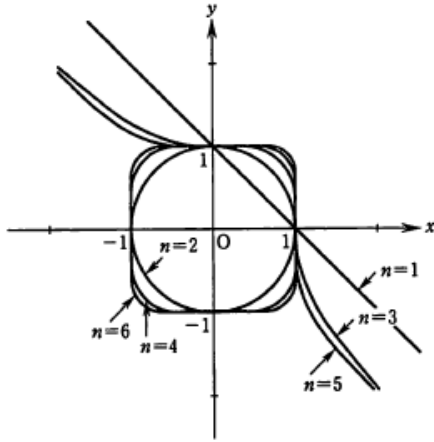
$$y = x^n$$



$\lim_{n \rightarrow \infty} \int_0^1 \frac{x^n}{1+x} dx = 0$  が直感的にわかる。

メルカトル級数・ライプニッツ級数の収束問題で使える。

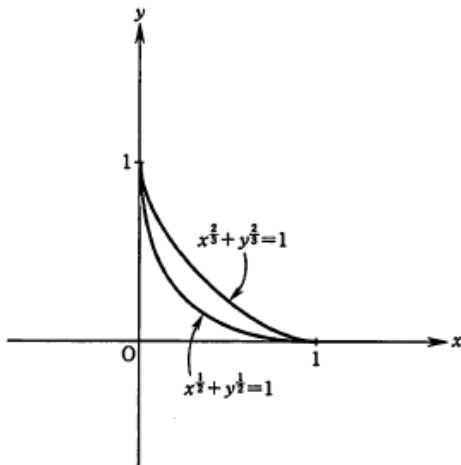
$$x^n + y^n = 1 \quad (n \text{ は自然数})$$



最大最小問題などで知っておくと得をする問題が散見される。

【例題】 曲線  $x^4 + y^4 = 4$  に異なる 4 点で外接する円の方程式は  $x^2 + y^2 = \text{①}$  であり、第 1 象限における接点座標は  $\text{②}$  となる。(2001 久留米)

$$x^n + y^n = 1 \quad (\text{一般})$$



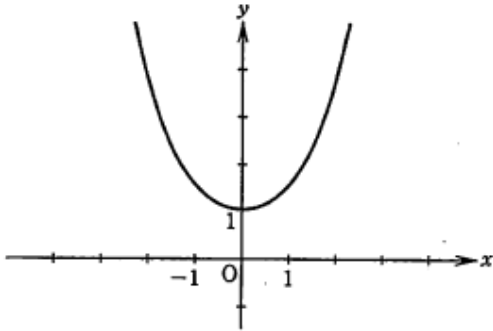
- (1)  $n = \frac{2}{3}$  のときはアステロイド
- (2)  $n = \frac{1}{2}$  のときは放物線の一部

45° 回転して関数化して面積・体積へつなげる問題が想定される。

【例題 01】

$\sqrt{x} + \sqrt{y} = 1$  を原点の周りに  $\frac{\pi}{4}$  (rad) 回転した曲線の方程式を求めよ。(変域不要)

## カタナリー



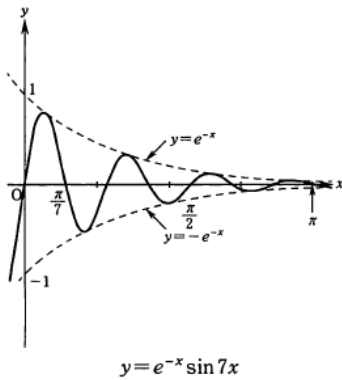
$$y = \frac{e^x + e^{-x}}{2}$$

(性質)

- ①  $y'' = y$
- ②  $\sqrt{1 + (y')^2} = y$

性質②は弧長を求める問題で用いる

## 減衰曲線

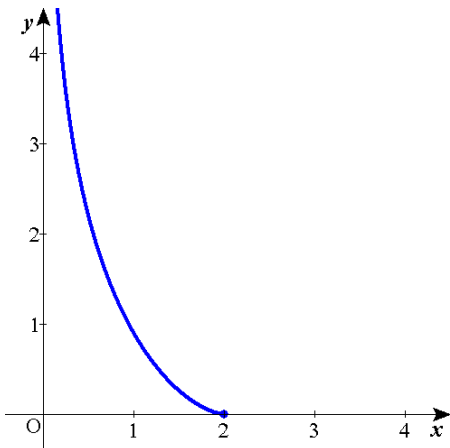


### 【例題 02】

関数  $f(x) = e^{-x} \sin x$  について、次の各問いに答えよ。

- (1)  $f'(x)$  を求めよ。
- (2)  $0 < x < 5\pi$  における関数  $f(x)$  の極大値をすべて求めよ。
- (3)  $(k-1)\pi \leq x \leq k\pi$  ( $k=1, 2, \dots, n$ ) において曲線  $y = f(x)$  と  $x$  軸とで囲まれる部分を、 $x$  軸の周りに 1 回転してできる立体の体積  $V_k$  を求めよ。
- (4) (3) で求めた体積  $V_k$  から、 $\lim_{n \rightarrow \infty} \sum_{k=1}^n V_k$  の値を求めよ。

## 牽引曲線 (トラクトリックス)



$$y = a \log \frac{a + \sqrt{a^2 - x^2}}{x} - \sqrt{a^2 - x^2}$$

微分計算がメンドウ

$$y' = -\frac{\sqrt{a^2 - x^2}}{x}$$

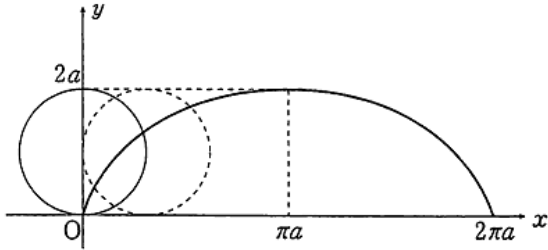
【例題 03】 2011 聖マ

関数  $f(x) = 2 \log \frac{2 + \sqrt{4 - x^2}}{x} - \sqrt{4 - x^2}$  を考える。ただし、対数は自然対数である。

- [1] 関数  $f(x)$  の定義域は  $0 < x \leq a$  である。  $a$  の値を求めなさい。
- [2] 曲線  $y = f(x)$  の概形をかきなさい。  $y$  の増減およびグラフの凹凸を調べた過程も記載しなさい。
- [3]  $0 < x_0 < a$  とし、上問[2]の曲線  $y = f(x)$  を  $C$  とする。  $C$  上の点  $P(x_0, y_0)$  における  $C$  の接線と  $y$  軸との交点を  $Q$  とする。線分  $PQ$  の長さを求めなさい。ただし、  $a$  は上問[1]で求めた値とする。

# 有名曲線 II

## サイクロイド



$$\begin{cases} x = a(\theta - \sin \theta) \\ y = a(1 - \cos \theta) \end{cases}$$

山一つ分について

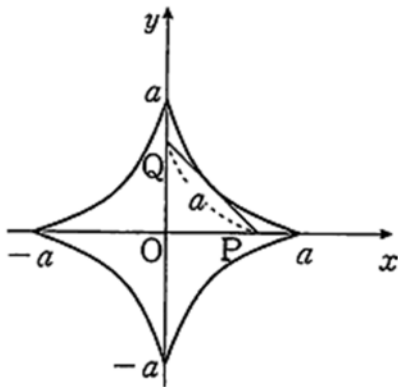
$x$  軸との間の面積  $3\pi a^2$

$x$  軸回転体体積  $5\pi a^3$

弧長  $8a$

【例題】 弧長が  $8a$  となることを確かめよ。

## アステロイド



$$\begin{cases} x = a \cos^3 \theta \\ y = a \sin^3 \theta \end{cases}$$

$$\Leftrightarrow x^{\frac{2}{3}} + y^{\frac{2}{3}} = a^{\frac{2}{3}}$$

一周分について

囲む面積  $\frac{3}{8}\pi a^2$

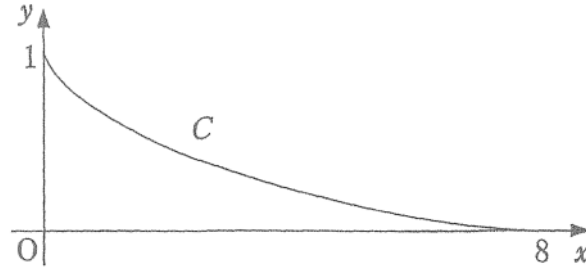
$x$  軸回転体体積  $\frac{32}{105}\pi a^3$

(1) 長さ  $a$  の線分の両端がそれぞれ  $x$  軸上,  $y$  軸上を動くときの通過領域の境界線。

(2) 4 : 1 の内サイクロイド (比は台円と動円の半径の比)

【例題 04】東邦 2011

下図のような曲線  $x^{\frac{2}{3}} + 4y^{\frac{2}{3}} = 4$  ( $x \geq 0, y \geq 0$ ) を  $C$  とする。以下の(1)~(4)に答えよ。



(1)  $I_n = \int_0^{\frac{\pi}{2}} \sin^n \theta d\theta$  ( $n=1, 2, 3, \dots$ ) とおく。このとき、 $I_2$  の値は  $\frac{\text{ア}}{\text{イ}} \pi$  である。また、 $I_6$  と  $I_4$  の間

には、関係式  $I_6 = \frac{\text{ウ}}{\text{エ}} I_4$  が成り立つ。

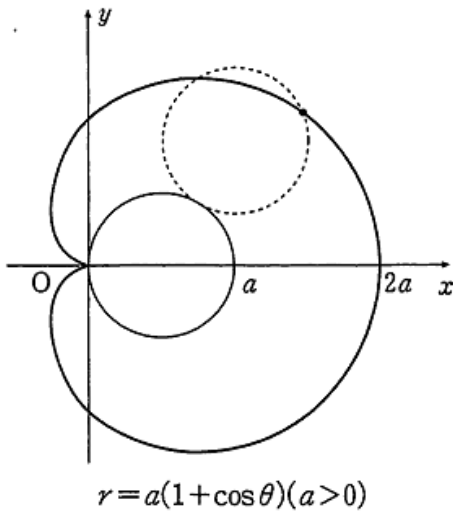
(2) 曲線  $C$  および  $x$  軸、 $y$  軸に囲まれた図形の面積は  $\frac{\text{オ}}{\text{カ}} \pi$  である。

(3) 曲線  $C$  の方程式について、 $y$  の導関数を  $\frac{dy}{dx}$  とする。 $x > 0, y > 0$  のとき、 $\left(\frac{x}{y}\right)^{\frac{1}{3}} \frac{dy}{dx}$  は一定の値  $\frac{\text{キク}}{\text{ケ}}$

をとる。

(4) 曲線  $C$  上の点で、第 1 象限内にある点を  $P$  とする。また、点  $P$  における接線と  $x$  軸、 $y$  軸との交点をそれぞれ  $A, B$  とする。原点を  $O$  で表したとき、三角形  $OAB$  の面積は点  $A$  の  $x$  座標が  $\sqrt{\text{コ}} \sqrt{\text{サ}}$  のとき、最大値  $\text{シ}$  をとる。

## カーディオイド



$$\begin{cases} x = a(1 + \cos \theta) \cos \theta \\ y = a(1 + \cos \theta) \sin \theta \end{cases}$$

$$\Leftrightarrow r = a(1 + \cos \theta)$$

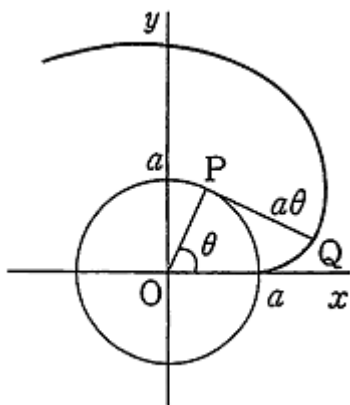
一周分について

囲む面積  $\frac{3}{2}\pi a^2$

弧長  $8a$

- (1) 点 P が線分 OA を直径とする円上を動くとき、直線 OP 上で  $PQ = OA$  を満たす点 Q の軌跡
- (2) 極座標面積公式の利用
- (3) 1 : 1 外サイクロイド (比は台円と動円の半径の比)

## 円の伸開線 (インボリュート)



$$\begin{cases} x = a(\cos \theta + \theta \sin \theta) \\ y = a(\sin \theta - \theta \cos \theta) \end{cases}$$

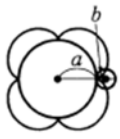
一周分について

線分 PQ の通過する面積  $\frac{4}{3}a^2\pi^3$

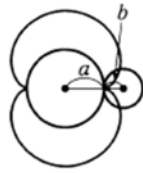
弧長  $2a\pi^2$

- (1) 面積は、微小面積の利用、またはガウス・グリーン の定理の利用。
- (2) 弧長は比較的容易

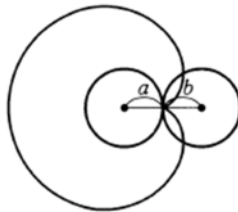
## 外サイクロイド (エピサイクロイド)



$a : b = 4 : 1$



$a : b = 2 : 1$

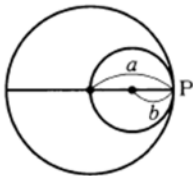


$a : b = 1 : 1$

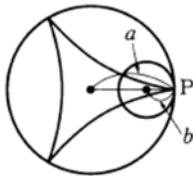
$$\begin{cases} x = (a+b)\cos\theta - b\cos\left(\frac{a+b}{b}\theta\right) \\ y = (a+b)\sin\theta - b\sin\left(\frac{a+b}{b}\theta\right) \end{cases}$$

(1) 1 : 1 はカーディオイド

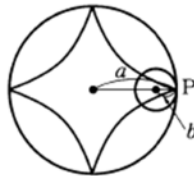
## 内サイクロイド (ハイポサイクロイド)



$a : b = 2 : 1$



$a : b = 3 : 1$



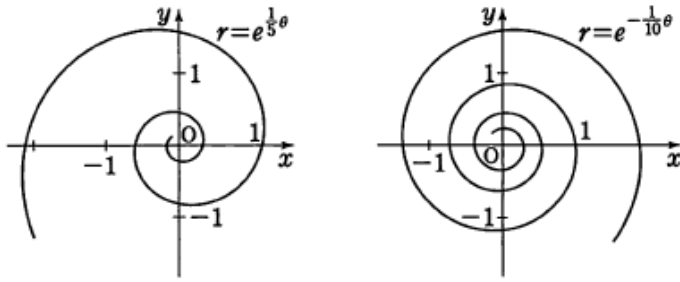
$a : b = 4 : 1$

$$\begin{cases} x = (a-b)\cos\theta + b\cos\left(\frac{a-b}{b}\theta\right) \\ y = (a-b)\sin\theta - b\sin\left(\frac{a-b}{b}\theta\right) \end{cases}$$

(1) 4 : 1 はアステロイド, 2 : 1 は線分, 3 : 1 は東急電鉄のマーク



# 等角らせん

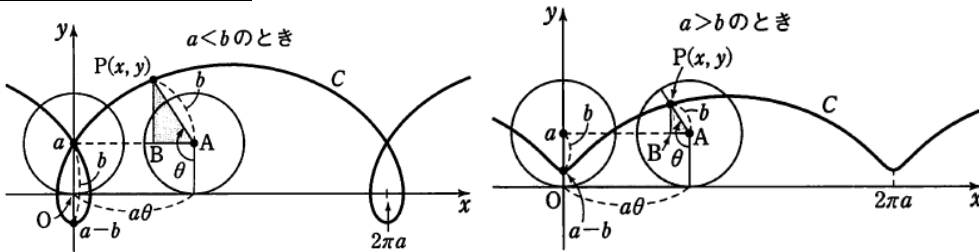


$$\begin{cases} x = Ke^{a\theta} \cos \theta \\ y = Ke^{a\theta} \sin \theta \end{cases}$$

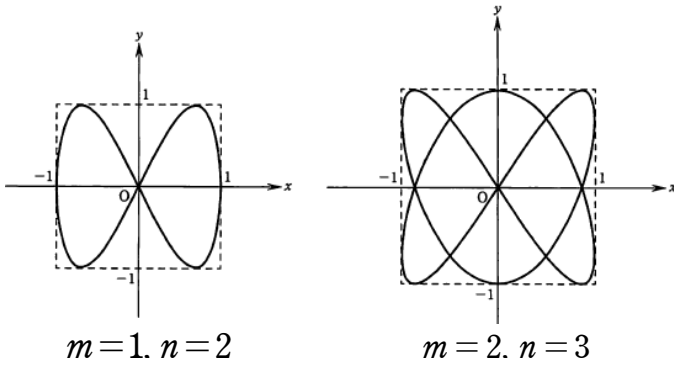
$$\Leftrightarrow r = Ka^{a\theta}$$

(1) 曲線上の点 P における接線と直線 OP のなす角が一定

# トロコイド

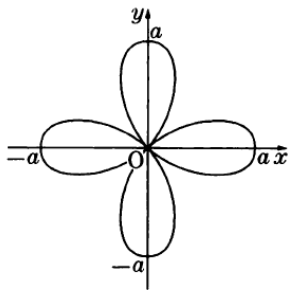


# リサージュ曲線



$$\begin{cases} x = \sin m\theta \\ y = \sin n\theta \end{cases}$$

# 正葉曲線



$$r = a \cos 2\theta$$

$$r = a \cos n\theta$$

【例題 05】

極座標で表現された図形  $r = f(\theta)$  と原点から始まる二つの半直線  $\theta = \alpha$ ,  $\theta = \beta$  で囲まれる部分の面積は  $\int_{\alpha}^{\beta} \frac{1}{2} \{f(\theta)\}^2 d\theta$  で表すことができる。たとえば,  $r = 4 \cos \theta$  で表される図形の面積は

$$\int_{-\frac{\pi}{2}}^{\frac{\pi}{2}} 8 \cos^2 \theta d\theta = \boxed{\text{ア}} \pi \text{ となる。}$$

正葉形  $r = \sin 3\theta$  において  $0 \leq \theta \leq 2\pi$  で  $r \geq 0$  となる  $\theta$  の範囲を順に示すと  $0 \leq \theta \leq \frac{\boxed{\text{イ}}}{\boxed{\text{ウ}}} \pi$ ,

$\frac{\boxed{\text{エ}}}{\boxed{\text{オ}}} \pi \leq \theta \leq \pi$ ,  $\frac{\boxed{\text{カ}}}{\boxed{\text{キ}}} \pi \leq \theta \leq \frac{\boxed{\text{ク}}}{\boxed{\text{ケ}}} \pi$  である。この正葉形で囲まれる面積は  $\frac{\boxed{\text{コ}}}{\boxed{\text{サ}}} \pi$  とな

る。

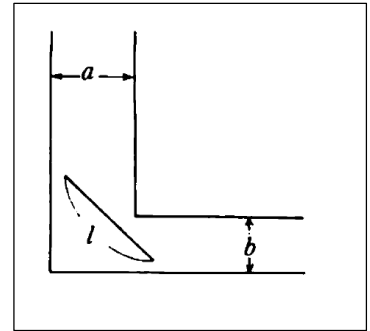
(2011 順天堂大学)

【例題 06】

曲線  $\sqrt{x} + \sqrt{y} = 1$  と  $x$  軸,  $y$  軸で囲まれた部分を, 直線  $y = x$  のまわりに回転してできる回転体の体積を求めよ。(電通大)

【例題 07】

図のように直角に曲がった廊下がある。長さ  $l$  の棒を水平にもったままかどをまわりたい。このことが可能な棒の長さ  $l$  の最大値を求めよ。ただし、廊下は十分に長いものとする。(東京電機大)



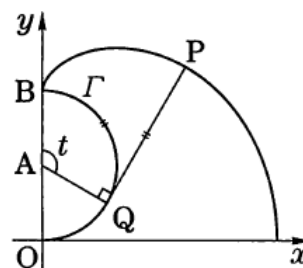
**【例題 08】(カージオイド)**

$O-xy$  平面上の点  $A(-1, 0)$  を中心とする半径 1 の円  $C$  上の点  $P$  における接線へ、原点  $O$  から下ろした垂線の足を  $Q$  とする。点  $P$  が、 $O$  を出発点とし、 $C$  上を角速度 1 ラジアン/秒で反時計回りに回転するとき、

- (1)  $t$  秒後の  $Q$  の位置  $(x(t), y(t))$  を求めよ。
- (2)  $P$  が  $C$  上を 1 周するとき、 $Q$  の描く曲線の概形をかき、この曲線が囲む図形の面積を求めよ。

### 【例題 09】円のインボリュート

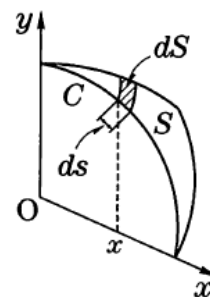
原点を  $O$  とし、平面上の 2 点  $A(0, 1)$ ,  $B(0, 2)$  をとる.  $OB$  を直径とし点  $(1, 1)$  を通る半円を  $\Gamma$  とする. 長さ  $\pi$  の糸が一端を  $O$  に固定して,  $\Gamma$  に巻きつけてある. この糸の他端  $P$  を引き, それが  $x$  軸に到達するまで, ゆるむことなくほどいてゆく. 糸と半円との接点を  $Q$  とし,  $\angle BAQ$  の大きさを  $t$  とする.



- (1) ベクトル  $\overrightarrow{OP}$  を  $t$  を用いて表せ.
- (2)  $P$  が描く曲線と,  $x$  軸および  $y$  軸で囲まれた図形の面積を求めよ.

**【例題 10】 難 曲面の面積**

曲線  $y=1-x^2$  ( $0 \leq x \leq 1$ ) を  $C$  とする.  $C$  を  $y$  軸のまわりに 1 回転したとき  $C$  が通過する曲面を  $S$  とする.  $C$  の微小部分 (長さ  $ds$ ) が通過する  $S$  の微小部分  $dS$  の面積は  $2\pi x ds$  であるとして,  $S$  の面積を計算せよ. (宇都宮大)



MEMO